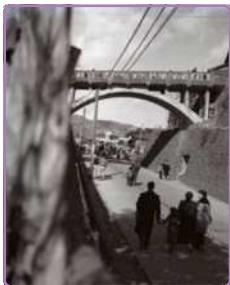


# 4 昔をたずねて

むかし ようす  
昔のまちの様子

まちたんけんに行ったとき、いろいろな古いものに出会いましたね。もっとたくさんまちの昔をさがしてみましよう。



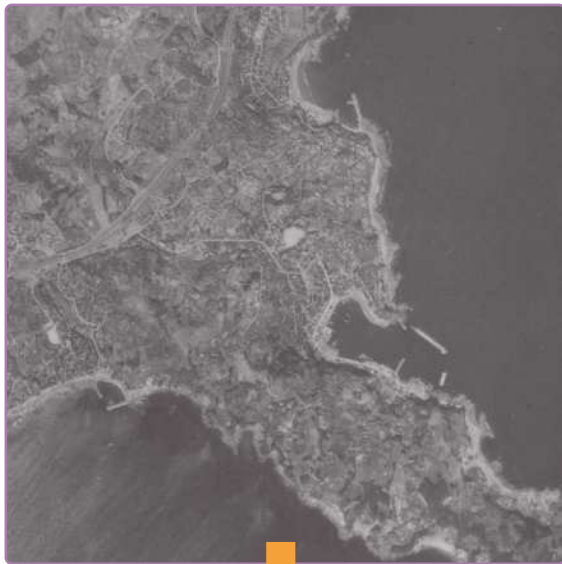
まなづるまち むかし しゃしん まち  
真鶴町の昔の写真から、町の建物や昔の人の生活のみてみましよう。



# むかし まなづるまち ようす 昔の真鶴町の様子

## がく しゅう もん だい 学習問題

むかし いま まなづるまち ようす  
昔と今の真鶴町の様子では、どんなちがいがあろう。



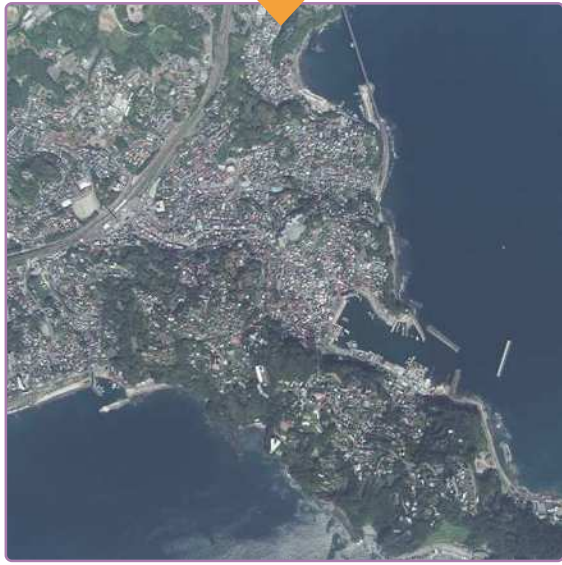
むかし ほし  
昔は橋がなかったんだね。



いよ  
たくさん家がふえたんだね。



むかし まなづるまち しょうわ ねん  
昔の真鶴町 (昭和23年)



いま ようす れい わ がんねん  
今の様子 (令和元年)

いま むかし ようす  
今と昔の様子をまとめてみよう。

---



---



---



---

# 2

むかし とうく  
昔のくらしと道具

## 昔の学校はどんな様子だろう

まなづるにはどんな学校があったの  
だろう。また、どんな行事や遊びがあっ  
たのか、調べてみよう。

### 旧岩小学校



新しい校舎 (大正13年1月27日)



建てなおした校舎 (昭和12年10月1日)

### 旧真鶴小学校



関東大震災前



学校落成式 (昭和2年10月17日)



1966 (昭和41) 年撮影



1993 (平成5) 年撮影

### まなづる小学校・真鶴中学校



2026 (令和8) 年3月現在



2026 (令和8) 年3月現在

## 昔の子どもはどんな様子だろう

### 【ふくそうや学校でのようす】 明治40年ころ

お弁当!! 忘れないで!! 学校の近くの子は家で昼食をとる事も許されていた

算術(そろばん)、歴史、理科、習字、裁縫(女子のみ)などの授業

丸坊主に かすりの着物など

髪は銀杏派に結っていた

布製の かばんの子もいた

風呂敷は肩にしょったり、腰にまわしたりした

竹の皮で編んだぞうり (わらはせたく品だった)

### 【洋服の子が増えてくる】 昭和3年ころ

洋服の子が増えてくる

男子の間に 大流行!!

女子の正装……主に行事の時着用

女子の水着登場!! 「夏が一番好きだった」と言い切る娘の子

かすりの着物を短めに着て白のトランペンをはく子の姿がとでも流行った

セーラー服に おさげ姿

長い羽織袴

### 【遊び】 昭和10年ころ

### 【運動会のようす】 大正6年ころ

女の子と手をつなぐなんてヨー恥ずかしくてたまんねえな

ヤダな…

洋服の子もいたが、ほとんどの子は着物だったので、着物姿で踊るフォークダンスであった

宿仲通りが、夕刻の遊び場

村には、自動車もなく、道を車が走ることはなかった

電信柱で「かいせん」

「まりふつけ」

「なわとび」(無償でなわをもらう) などをして遊んでいた

### 【ベーゴマなどで遊ぶ】 昭和27年ころ

熱中したベーゴマ遊び

(岩の子われら(旧岩小学校PTA)より)

むかし ひと  
昔の人のくらしは、どのような様子か、まとめてみよう。

---



---



---

むかし どうぐ  
昔の道具

なに つか つか  
何に使うのかな、どのように使うのかな。

せい かつ かん  
生活に関するもの



おひつ



せいろ



てつ 鉄びん



石うす



ちや 茶がま



ひ 火鉢



やぐらごたつ



ひ 火のし



はこまら 箱枕

のう ぎょう かん  
農業に関するもの



せんべつ き みかんの選別機

み 見たことのある  
道具は、あるかな。



どこで調べたら、  
昔のことがわかるかな。



ぎょ ぎょう かん  
漁業に関するもの



あわびかご



はこ 箱めがね



らしんばん



まなとりあみ 魚取網



てい ち あみよう 定置網用うき



あみ 網

せき ざい ぎょう かん  
石材業に関するもの



ゲンノウ・ヤジメ



つ 石ノミ筒



ピシヤン

むかし どうぐ 昔の道具について、しらべてみよう。

-----

-----

-----

# 5 さわやか、すこやか、みんなのくらし



学習問題

健康なくらしをささえるために、どのような取り組みがあるのだろう。

ごみはどこへ

## ごみの出し方に、何かきまりはあるのかな

わたしたちが出しているごみは、どこへ行くのでしょうか。わたしたちが使っている水は、どこから来るのでしょうか。ごみや水にたずさわる人たちの仕事を調べてみましょう。



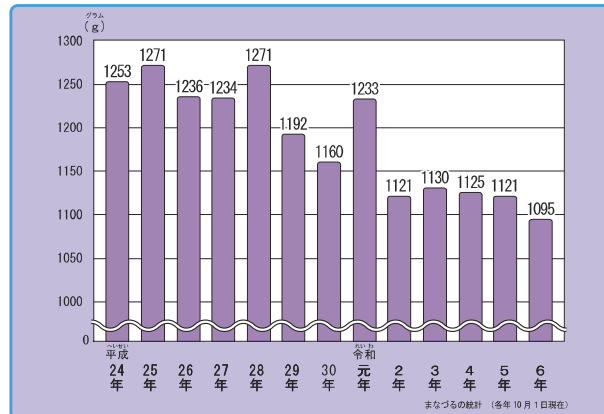
こんなお知らせを、みたことあるかな？



学習問題

わたしたちが出しているごみはどこへ行くのだろう。

町のごみ処理の施設や設備は、どのようなものがあるのかな。



真鶴町で1人が1日に出すごみの量 (全ての種類をあわせたもの)

まなづるの統計 令和7年度調べ

<ごみ処理のうつりかわり>	
1961年 (昭和36)	いわちくほそやま 岩地区細山にごみしょうきやくろを新しくつくった。(1日7.5 t)
1970年 (昭和45)	ごみしょうきやくろをふやし、1日9 tの処理ができるようになった。
1976年 (昭和51)	ごみしょうきやくろのこしょうで、湯河原町にごみしょうきやくをたのんだ。
1977年 (昭和52)	まなづるまち ゆがわらまち 真鶴町と湯河原町が、いっしょに利用できるごみしょうきやく場が吉浜の星ヶ山にできた。1日に40 t処理できるようになった。
1985年 (昭和60)	カンなどのもえないごみのえりわけをすることになった。
1990年 (平成2)	そだい しょうりしせつ ゆがわらびか 粗大ごみ処理施設が湯河原美化センターにできた。
1997年 (平成9)	あら 新しいごみしょうきやく施設が湯河原美化センターにできた。(1日70 t)
2019年 (令和元)	あら さいしゅうしょぶんじょう ゆがわらびか 新しい最終処分場が湯河原美化センターにできた。

可燃物



ごみ集せき所



ごみを集めるパッカー車



湯河原美化センター



最終処分場

美化センターには、粗大ごみやカン類のほかにもいろいろなもやせないごみが集められてきます。どのようなものがあり、どのように処理されるのかを調べてみましょう。

可燃物以外のごみ



ビン類



ペットボトル類



しきべつ せんべつ  
色別を選別



はずされていないキャップやリサイクルできないものを取りのぞく



むしくとうめい  
無色透明



みどり ちやいろ くろいろ  
緑・茶色・黒色



つぶされたペットボトル

この後は、どこへ行くのでしょうか。



カン類



粗大ごみ



つぶされたカン・金ぞく類



くだかれた粗大ごみ

ごみをへらすために、わたしたちにできることは何だろう。



ごみを資源として生かせるように働いている人がいるんだね。



ごみの処理について、まとめてみよう。

---



---



---



---



---



---

# 2

みず  
水はどこから  
どこへ

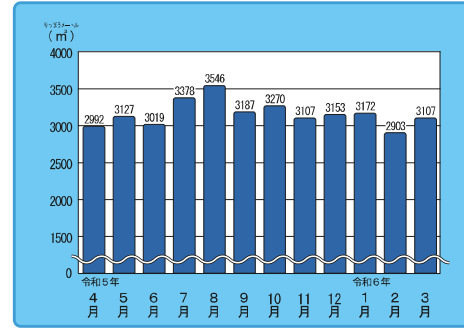
## みず 水はどこからくるのかな

みず  
水はわたしたちの生活にとって欠かす  
ことのできないものです。ところが、大  
きな川がないので真鶴町は昔から水不足  
になやまされてきました。

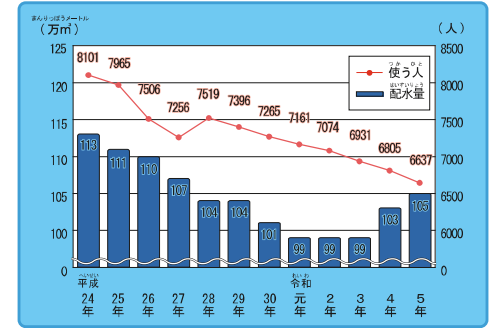
### がくしゆもん だい 学習問題

わたしたちが飲んだり使ったりしている水はどこから来て、どこに行くのだろう。

まなづるまち すいどう ＜真鶴町の水道のうつりかわり＞	
1928 (昭和3) 年	いそざき みず すいげん 磯崎のわき水を水源として水道をつくった。
1952 (昭和27) 年	だい かいめ すいどう ひろ こうじ かんせい 第1回目の水道を広げる工事が完成した。
1957 (昭和32) 年	だい かいめ すいどう ひろ こうじ かんせい 第2回目の水道を広げる工事が完成した。 すいどう つかひ と 水道を使う人がふえてくるにしたがって水源のすいりょうがすくなく るとともにだんだん塩からなくなってきた。
1961 (昭和36) 年 2月 7月	おだわらし え の うら あかさわ 小田原市の江之浦の赤沢地区のわき水を水源とする工事が完成した。 とうかいどうしんかんせん とうじ かんせい 東海道新幹線の南ごう山トンネル工事のため、赤沢の水が少なくなり、水 源として使えなくなった。
1964 (昭和39) 年	おだわらし え の うら しんかんせん 小田原市江の浦の新幹線のトンネル工事から出たわき水を小田原市との 約束で町に引くことになった。
1970 (昭和45) 年	だい かいめ すいどう ひろ こうじ かんせい 第5回目の水道を広げる工事が完成した。 ゆがわらまち みず か ひ 湯河原町から水を買って引くようになった。(吉浜水道)
1971 (昭和46) 年	いわちく いど 岩地区に井戸をほり、水源とした(棚子下)
1974 (昭和49) 年	いわちく いど 岩地区に井戸をほり、水源とした(岩2号)
1975 (昭和50) 年	いわちく いど 岩地区に井戸をほり、水源とした(岩1号)
1977 (昭和52) 年	だい かいめ すいどう ひろ こうじ かんせい 第6回目の水道を広げる工事が完成した。 なつ みず しようりょう 夏の水の使用量がふえ、水不足になやまされるようになってきた。
1982 (昭和57) 年	ゆがわらまち いんりょうすい やくそく 湯河原町と飲料水をわけてもらう約束をした。
1988 (昭和63) 年	いわちく ほそやま まち すいどう 岩地区、細山に町の水道がいくように工事した。これにより町内すべて に給水できるようになった。



つぎべつ にち へいきんはいすいりょう  
月別1日あたりの平均配水量  
まなづるの統計 令和7年度調べ



すいどう つかひ と へいすいりょう  
水道を使う人と配水量のうつりかわり  
まなづるの統計 令和7年度調べ

みず たいせつ つか  
水を大切に使うために、わたしたち  
にできることは何だろう。



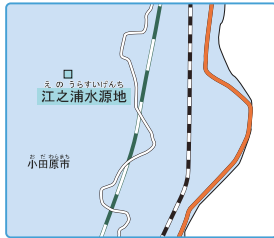
えんそしょうどく  
塩素消毒をする職員

### すいげん じょうすい ほうほう 水源と浄水方法

すいげんけいとう 水源系統	めいしう 名称	すいげん しゅるい 水源の種類	じょうすいしりょうほう 浄水処理法	おも へいすいさき 主な配水先
え の うら すい げん すい けい 江之浦水源水系	だい 1 すい げん 源 第1水源	わきみず 湧き水	えんそしょうどくのみ 塩素消毒のみ	はし うえちく 橋の上地区、 ながさかじゆうたくちく 長坂住宅地区、 ばばちく 馬場地区、
	だい 3 すい げん 源 第3水源	ちかすい ふかいど 地下水(深井戸)	えんそしょうどくのみ 塩素消毒のみ	いわかいがんちく 岩海岸地区、 ひらたいちく 平台地区、
	いわ 1 号 すい げん 源 岩1号水源	ちかすい ふかいど 地下水(深井戸)	えんそしょうどくのみ 塩素消毒のみ	おおがくほちく 大ケ窪地区、 まなづるていちく 真鶴低地区
いわ すい げん すい けい 岩水源水系	いわ 2 号 すい げん 源 岩2号水源	ちかすい ふかいど 地下水(深井戸)	えんそしょうどくのみ 塩素消毒のみ	ほそやまちく 細山地区、 たなごしたちく 棚子下地区、 にいじまちく 新島地区
	たなごした すい げん すい けい 棚子下水源水系	たなごした すい げん 源 棚子下水源	ちかすい ふかいど 地下水(深井戸)	えんそしょうどくのみ 塩素消毒のみ
ゆがわらぶんすいすいけい 湯河原分水水系	-	-	-	-



おおさかやまじょうすいち  
大猿山浄水池



えのうらすいげんち  
江之浦水源



たなごしたすいげん  
棚子下水源



たなごしたすいげん  
棚子下水源  
取水ポンプ



いわごうすいげん  
岩2号水源



いわごうすいげん  
岩1号水源

### まなづるまちすいどうせつちいちず 真鶴町水道設置位置図



まなづるまちみず  
真鶴町の水はどこから来るのか、まとめよう。

### みず 水はどこへ行くのかな

それぞれの家（台所、ふろ、せんたく、トイレ…）からのよごれた水を、そのまま海に流すと、海がよごれてしまいます。

そこで真鶴町では、湯河原町と共同で下水の処理をしています。下水をきれいにするための施設は、「湯河原浄水センター」です。そこまで下水を運ぶための施設として平成18（2006）年12月に真鶴中継ポンプ場が完成しました。また、平成27（2015）年3月には、土地の低いところから中継場まで下水をおくるマンホールポンプも設置しました。現在もなお、多くの町民が下水施設を利用できるように、工事を進めています。

### まなづるまちちゅうけい 真鶴町中継ポンプ場

- 電気室  
ポンプ場内の機械設備を安全に運転させる配電盤類です。
- 脱臭装置  
活性炭により、臭いを吸着させて除去する設備です。
- じょじん設備  
（自動スクリーン）流入する汚水の中の大きなゴミを除去します。
- 自家発電機  
万一の停電でも、ポンプ場の運転ができるようにするディーゼルエンジンの発電機です。
- 送水ポンプ（初期型）  
ポンプ井に流した汚水に圧力をかけ、湯河原町浄水センターになります。

まなづるまちみず  
真鶴町の水はどこへ行くのか、まとめよう。

じしん たいふう  
地震や台風に  
そなえて



あめによる道の被害

か こ はっせい まち し ぜんさいがい  
過去に発生した町の自然災害では、ど  
のような被害があったのでしょうか。ま  
た、まちの人たちは、さいがいからみまも  
るためにどのようなきょうりよく  
しているのか、  
その取り組みを調べてみましょう。

がく しゅう もん だい  
学習問題

まなづるまち  
真鶴町では、これまでにどんな自然災害が起きたのだろう。  
そして、どんな対策をしているのだろう。

かんとうだいしんさい  
①関東大震災

たいふう ねん がつ ついたち ご ご じ ふん  
大正12年9月1日、午後11時58分。とつぜん関東地方を  
ちゅうしん おおき じしん  
中心に大きな地震がおきました。この地震によって発生し  
た火災や津波で、たくさんの方がなくなったりけがをした  
りしました。



ち こじんじや  
児子神社

まち ひと はなし  
町の人の話



わたしはその時、3さいの小さな子どもでしたが、カラー写  
真をみるように、こわい思い出が今でもうかできます。  
石がきがくずれて、かたむいた家のたたみの上をすべっていくダンス…  
人がいなくなり、ガラスのとびちっている家の中…  
気がつくとなだれかのせなかにせおわれて、たすけだされてました。  
それからわたしは、一本松の松の木に、二つちがいの兄としがみつき、  
ふるえながら眼の下の火の海を見ていました。それは、地ごくのようでした。  
火の粉がとんできて、すぐそばのわら屋根の小屋ももえました。

かん とう だい しん さい ひ がい  
関東大震災の被害

ひと ひ がい 人の被害	まなづるまち 旧真鶴村	まなづるまち 旧岩村	いえ ひ がい 家の被害	まなづるまち 旧真鶴村	まなづるまち 旧岩村
じ しん とき じん こう 地震の時の人口	3650 人	1515 人	じ しん とき の 戸 数 地震の時の戸数	822 戸	271 戸
な くな っ た 人 なくなった人	78 人	41 人	ぜん ぶ こ わ れ た 家 全部こわれた家	49 戸	91 戸
け が を し た 人 けがをした人	117 人	88 人	はん ぶん こ わ れ た 家 半分こわれた家	163 戸	96 戸
ゆ っ ぱ く 行 方 不 明	5 人	8 人	ぜん ぶ も え た 家 全部もえた家	467 戸	—
			う ま っ た 家 うまった家	—	11 戸
			なが さ れ た 家 ながされた家	9 戸	50 戸
ご う け い 計 合計	200 人	137 人	ご う け い 計 合計	688 戸	248 戸

しりょう しんさいちいきりょう お だ わ ら け い ざ つ じょう  
資料 震災調査表 (小田原警察署)

お お な み  
②大波とのたたかい

しやう わ ねん が つ に ち たいふう まなづるまち  
昭和24年8月31日、キティー台風が真鶴町をおそい  
ました。あさから強い風やあめがふきあれ、おおなみ  
あふれました。



まなづるこう  
ひがいをうけた真鶴港

ひる ご ろ になると、ぼう は て い  
昼ごろになると、防波堤はくずれてしまいました。さ  
らに大波は船を海岸道路にまでうちあげ、家をおしつ  
ぶしました。



おおなみ う あ ふね  
大波に打ち上げられた船

こわれた港や道路をなおすために町の人だけでなく、  
けん くに かけり かけり かけり かけり かけり かけり  
県や国のかかりの人など多くの人によって昭和29年3  
がつ いま ねん 月、今の港が出来上がりました。

まなづるまち お さいがい  
真鶴町で起きた災害について、まとめてみよう

-----

-----

-----

-----

-----

たいふう おお  
台風でも、大きな  
ひ がい  
被害があるんだね。



# 2

さいがい ひとびと  
災害から人々を  
まも 守るために

## まちにはどんな設備があるかな 真鶴町の災害から人々を守る仕組みを 調べてみましょう。

真鶴町お知らせメール登録手順のご案内

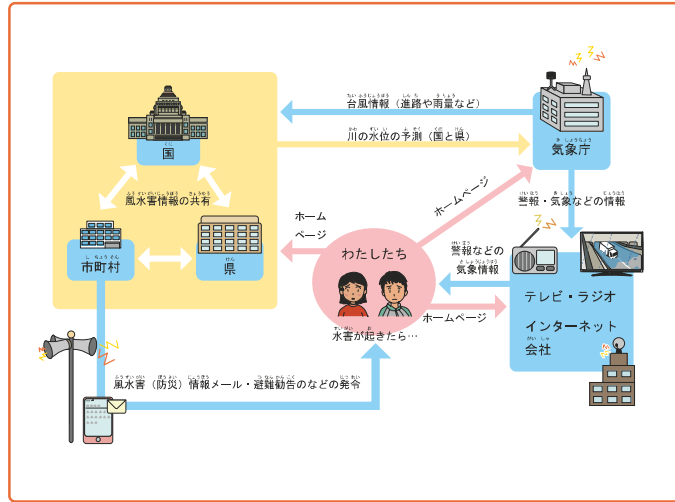


まなづるまち しら  
真鶴町お知らせメール



つなみちうい し  
津波注意のお知らせ

### 災害時のお知らせの仕組み



ぼうさいむせん  
防災無線

いざというときに、ど  
こへにげるかを知ってい  
ると安心だね。



ハザードマップ



こういき ひなんばしょ かんぱん  
広域避難場所の看板



ぼうさいくれん  
防災訓練



ぼうさいそうこ  
防災倉庫

さいがい みまも しく  
災害から身を守る仕組みが、  
たくさんあるね。



さいがい みまも  
災害から身を守るために、わたしたちができることは何か考えてみましょう。

-----

-----

-----

# 7 ふるさとをゆたかに

のこ  
まにに残る  
ねんちゆうぎようし  
年中行事

いままでのがくしゆうで、まなづるまちがぎよくやせきぎのまぢとしてし知られていることをがくしゆうしました。まなづるまちでんとうぶんかせんじんのはたらきについてしらべてみましょう。

## がくしゆうもんだい 学習問題

わたしたちのまちに昔から受け継がれているものは、どのようなものがあるのだろう。

## まなづる まつ ぎようし 真鶴にはどんな祭りや行事があるのだろう

### いわちごまつり 岩兒子まつり



いわちくまつりです。見どころは、花山車とみこしがはげしくぶつかりあうところです。

うみあんぜんねが  
海の安全を願ったり、平和な毎日への感謝を込めて、お祭りが行われるんだね。



### どうそじんまつ 道祖神祭り



むびやくさい  
無病息災をねがって、山車が子どもや大人たちの手でひかれ、町内をまわります。

### や どんど焼き



しづかつが  
お正月に使った飾りを集めて火でたき、町の人たちが一年の安全と健康をねがう行事です。

## 【貴船祭り】

くにしていゆうようむけいみんぞくぶんかざい  
国指定重要無形民俗文化財



かいでんま  
權伝馬



はやしぶね  
囃子船



かしまおど  
鹿島踊り



こばやぶね  
小早船



はなだし  
花山車



みこし  
神輿

## きふねまつ 貴船祭り

(日本三大船祭りの一つ：第4金曜日・土曜日)

17世紀中ごろに、現在の貴船祭りの原型が生まれたといわれています。

昔から貴船祭りは「恩返し祭り」と言い伝えられ、海運、石材業における安全、漁業の大漁祈願とともに、日常の安らかで平和な毎日への感謝の心をこめて、勇壮・華麗にくり広げられます。

### 【初日】宵祭り

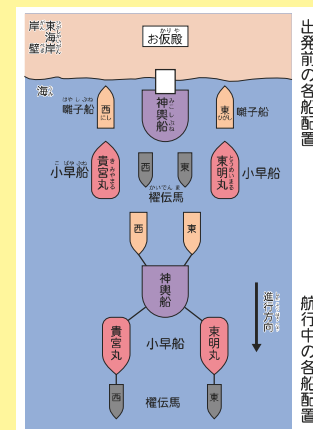
こばやぶねうみやながはい  
小早船が海の中に入ることから始まり、權伝馬が小早船・神輿船を引っ張り、囃子船とともに貴船神社がある宮の前海岸へ、神輿をむかえに向かいます。

神社では例大祭が行われ、鹿島踊りが奉納された後、神輿が神輿船に乗り、各船はお仮殿前の海岸に向かいます。上陸後、神輿はお仮殿に入ります。

### 【二日目】本祭り

かみやまえはつよさい  
お仮殿の前で発興祭が行われ、鹿島踊り、花山車が奉納され、花山車、鹿島連、神輿、はやしが町内を回ります。

町内をめぐった後、神輿は一度、お仮殿に入り、鹿島踊りが奉納されます。その後、神輿船に乗り、權伝馬・小早船・囃子船とともに宮の前海岸へ向かいます。神輿は神社にもどり、鹿島踊りの奉納でこの祭りは終わります。



出発前の各船配置

航行中の各船配置

まなづる ぎょうじ  
真鶴にはどんな行事があるのだろう

がっ び	げつ じ かい	ぎょうじ 名	がっ び	げつ じ かい	ぎょうじ 名
1月	1日 1日 ~5日	がんたん はつしごう はつに 元旦・初詣・初荷 きふね さいたんさい 貴船の歳旦祭 かいりょうぎょう りょうし ふねいわ 海運業、漁師の船祝い せんしゆ としはじめ 船主の年始 せきざいぎょう やまいわ 石材業の山祝い	6月	1日 26日	いわせんげんこう 岩浅間講 ふうがいでう たいしさい 風外堂だるま大師祭
	7日	ななか 七草がゆ どうぞじんまつ じゅんび 道祖神祭り準備 かがびひ くらびら 鏡開き・お蔵開き おんがじり どんど焼き(岩・大ケ尻)	7月	7日	いしば いわむかいた てんのう 石場・岩方向のお天王さん (へらへらだんご) ち こじんじや れいさい 兒子神社の例祭 きふねじんじや れいさい 貴船神社の例祭
	11日	だいに げつようび 第2月曜日	8月	初旬 13日~16日	うら ほん じゅんまつ 岩頼朝船出海岸夏祭り ぼん ぜん 孟蘭盆会 いげもん じぞうせん 灌門寺地藏尊
	15日	せいじん ひ 成人の日 み ちん ぎ 身の貫決め こしうがつ じゅうごにち 小正月・十五日がゆ でぞめしき 出初式	9月	1日 1日	ほうさい ひ 防災の日 しゅうぶん あき ひがん 秋分・秋の彼岸 いわかいがんに じゅうさん やま 岩海岸二十三夜待ち どうりょうそんたいさい 道の尊大祭
	16日	せきざいぎょうしや やま かみこう 石材業者の山の神講 のうか やま かみこう 農家の山の神講 ふつか しょうがつ 二十日正月・えびす講	10月	13日	ふなまりりゅうじんじやれいさい 船玉竜神社例祭 (竜宮さん昔は5月3日) じゅうごう せいし 十三夜・お月見 せきざいぎょうしや やま かみこう 石材業者の山の神講
	17日	はつつか 20日正月・えびす講		17日	おと十夜 しちごさん いわ 七五三の祝い
	20日	ちゅうない じいん はつじぞう 町内寺院の初地蔵 どうりょうそん はつしごう 道の尊初詣	11月	15日	えびす講(商家) かわびた もち 川漫り餅
	23日	せつぶん せつめ 節分・豆まき はつつか しょうがつ 初午・針供養	12月	1日 8日	めひと こぞう 目一つ小僧 まなづるおおどお とし いち 真鶴大通り歳の市
	28日	もも せつく しょうまつ 桃の節句・ひな祭り いしくせん せくきょう 石工先祖供養		14日	とうじぎょうじ 冬至行事 かどまつ もち 門松・餅つき
2月	3(4)日	いしくせん せくきょう 石工先祖供養		28日	おおみそか 大晦日
	初旬	じせんいんみず こじぞう 自泉院水子地蔵		31日	きふね いしがねまじり 貴船・石船業者のおこもり
3月	3日	いそびら かし 磯開き(昔は3月1日)			
	下旬	はな 花まつり			
4月	1日	うちぶらかんのんれいたいさい 内袋観音例大祭			
	8日	せきざいぎょうしや やま かみこう 石材業者の山の神講			
	17日	ひよりやま せぶたいし 日和山生飯大師			
5月	5日	なんご せつこう 端午の節句			
		いわりりょうこうじんじや まつ 若竜宮神社の祭り			

2025年12月現在

むかし うつ でんとう ぶんか  
昔から受け継がれている伝統や文化についてまとめよう。

まなづるまち はってん っ せんじん  
真鶴町の発展に尽くした先人

ぎょぎょう せきざいぎょう せんじん はたら  
漁業や石材業の先人の働きについて、  
しら 調べてみましょう。



がく しょう もん だい  
学習問題

まなづるまち はってん っ せんじん どりよく ねが  
真鶴町の発展に尽くした先人は、どのような努力をして、どのような願いをもっていたのだろう。



しっかけうら  
尻掛浦



くろだながまさくようとう  
黒田長政供養塔

紀州おおさき(和歌山県下津町)の  
与次兵衛がほらあみを始めたところ  
です。海岸に小屋を作り、数十人の  
漁師さんが働いていたといわれてい  
ます。

江戸城をつくるために真  
鶴からたくさんの石を切り  
だす仕事をした黒田長政の  
供養塔です。



いしくせんぞのひ  
石工先祖碑

せきざいぎょう はじ つち やかぐまい えどじょう きず  
石材業を始めた土屋格衛や、江戸城を築くた  
めに石をほりだす仕事にあたった黒田長政の  
家来七人の働きをたたえてたてられました。

## ①「漁業のまち」ができるまで



網で、まぐろ、ぶり、えび、ぼらをとる

相模湾の中でも、特に魚の種類が多いとされる真鶴の海では、昔から、漁業がさかんでした。はじめのころは、釣漁や潜水漁法が中心でした。

江戸時代になると、紀伊（和歌山県）の「田廣与次兵衛」という人が「鰯あみ」（1637年）を、また、和泉（大阪府）の「池田弥惣辺衛」という人が「鯛長なわ」（1643年）を導入し、魚をたくさんとることが進められていきました。

今から200年程前、「根拵あみ」が開発され、海岸の近くの海に、「定置あみ」をはって魚をとるようになりました。「根拵あみ」は、石川県の「藤七」という人が伊豆山に来て、海にあみをはったところ、ひじょうにたくさんの魚がとれ

たということを聞き、真鶴村の名主「五味台右衛門」という人が、いろいろ工夫し、開発したということです。

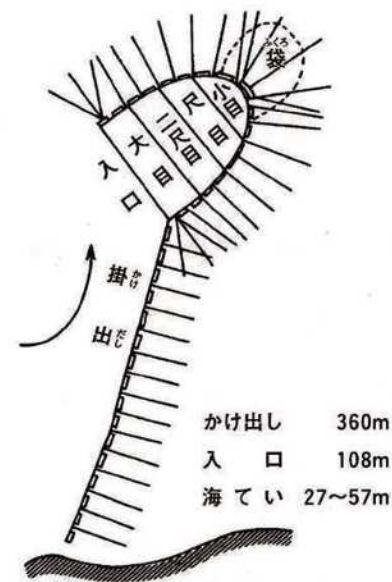
とれた魚も、船で江戸（東京）や小田原に運んで売りました。そのため、真鶴村は、漁村としていっそう発展し、村の人たちの生活もゆたかになりました。

その後、「根拵あみ」は、いろいろな村につきつぎにつたり、明治のはじめまではられていました。この「根拵あみ」をもとにして研究され、今の「定置あみ」ができあがりしました。そして、「ぶり」が昭和30年ころまでたくさんとれました。

### 【根拵あみ】

しばらく、海の中にあみをはり立てたままにしておき、魚のたいぐんが入ったらふくろだけをあげればよいというしくみになっています。

回避してきた大きい魚や小さい魚まで根こそぎとってしまうところから、この名がつけられたといわれています。



## ②「石材業のまち」ができるまで



江戸城の石垣に使う小松石の切り出しや運搬

真鶴半島は、昔からよい石がとれるところとして知られています。それは、箱根火山から流れ出した溶岩がかたまつた安山岩という美しい石や、細工のしやすい石がほりだされていたからです。

石を切り出す仕事をはじめたのは、昔、都の戦いをのがれて岩にやってきた「土屋格衛」という人だといわれています。伊豆石、相州石とよばれ、町なみ、お寺、神社などを作る時や墓石にも使われました。

石の産地として真鶴の名前が全国に知られるようになったのは、江戸時代のはじめ江戸城の石垣をつくるために、徳川御三家をはじめ、筑前黒田藩や肥前鍋島藩が、たくさんの石を切り出すようになってからのことです。伊豆半島

にはよい石がたくさんありましたが、とくに真鶴は江戸に近く、港にめぐまれ、船で運ぶのに便利だったからです。

港までは、大きな石は牛舎で、小さな石は「しゅら」を使って山ごえし運ばれたといえます。今とちがってきかいや自動車がない時代なので、とても大変な仕事でした。

それまでしずかな漁村だった真鶴は、このころから、石船がたくさん行き来し、石丁場（石切場）では石を切り出す人たちがいそがしく動き回るにぎやかなまちとなりました。この石は、「伊豆堅石」ともよばれていますが、真鶴でとれる石のばあいは、岩の小松山からたくさんとれるところから「小松石」とよばれるようになりました。また、幕末には、江戸品川沖に台場（砲台）をつくるために、たくさんの石が切り出されて使われました。

その後は、横浜港や横須賀港の工事、東京の市街電車のせんろのほそう用の敷石などに使うため、たくさんの石を真鶴から運びました。その時、この仕事の中心となっていたのは、岩村に生まれた土屋商店の「土屋大次郎」という人です。

現在の「旧土屋邸（旧真鶴町民俗資料館）」は、この土屋家の住まいだったところです。町役場近くの「石工先祖碑」には、真鶴の石材業のことが、くわしくしょうかいされています。

# 8 まなづるまち 真鶴町のまちづくり

「総合的な学習の時間」や6年・社会科の「政治の働きについての学習」のときに参考にしましょう。

真鶴町は、景観のよいまちとして知られています。未来でもこのまちが美しく  
くらしやすいまちであるための目標や取り組みを調べてみましょう。

真鶴町では、「2028（令和10）年になった時、こんなまちでいてほしい」  
というみんなのまちづくりの願いを、次のようにまとめました。

幸せをつむぎ、ともに進むまち真鶴

- 小さくて昔から変わらないけれど、実は最先端 のんびりスマート真鶴 -

（「第5次真鶴町総合計画」より）

この願いを実現させるために、次の10項目を意識しながら最先端の手法や技術を導入したスマート・タウンをめざしていきます。

- 1 「歩いて暮らせる町 (Walkable) 」
- 2 「みんなで分かち合う町 (Sharing Economy) 」
- 3 「便利な技術がひっそりと支える昔ながらの町 (Smart) 」
- 4 「民間の土地活用を後押しする町 (Land Bank) 」
- 5 「環境と経済を両立する町 (Ecology& Economy) 」
- 6 「小さな人だまりと大きな広場のある町 (Third Place&Square) 」
- 7 「そのままの自然が人を集める町 (Nature as it is) 」
- 8 「これからの時代を生き抜く力を育む町 (21st Century Skills) 」
- 9 「生涯学習と生涯現役の町 (Relearning & Reskilling) 」
- 10 「芸術と建築を楽しめる街歩きのある町 (Artist & Architect in Residence) 」

## 学習問題

真鶴町では、人々の暮らしの願いを受け、どのような取り組みが行われているのだろう。

## 【社会保障】 みんなで支え合うまちづくり



敬老福祉大会



まなづる生き活き健康体操



ふれあい体験セミナー



親子教室

## 【自然災害への備えや安全な環境】 みんなで助け合うまちづくり



町防災訓練



ビーチクリーンアップ



中学生 駅前清掃

【地域の開発や活性化】  
みんなで考え創造するまちづくり



株主ミーティング



真鶴観光パンフレットの作成



真鶴半島駅伝競走大会



町民運動会



男女共同参画講演会



マナ真鶴～ハワイアンタペ



子ども陶芸教室



公開講座機の観察会

商標登録

・水産業

真鶴町で美味しい魚がたくさんとれる理由として考えられているのが、魚付き保安林「お林」に降った雨が、森で生まれた栄養を豊富に含んだ湧き水となって海に流れ込み、周辺に魚が居ついたのでないかということです。

また、真鶴町の周りには、いろいろな種類の生き物（魚や貝、海藻など）が生活をしています。

真鶴町でとれる魚が美味しいことをPRするために「お林・どん深の海の恵み 真鶴」という商標ロゴを作成し、商標登録をしました。

(平成30年3月9日 登録第6024953号)

・石材業

真鶴町でとれる「小松石」をさらに有名にするために、真鶴町でとれた本小松石を使った製品に使用できるように「真鶴本小松石」として商標登録をしました。

(平成30年5月25日 登録6045559号)



# 9 まなづるまち 真鶴町のうつりかわり

「総合的な学習の時間」や6年・社会科の歴史学習のときに参考にしましょう。

むかし  
昔を  
つた  
伝えるもの

まなづるまちには、古い建物や記念碑がたくさん残されています。昔を伝えるこれらのものを見つめましょう。

## 学習問題

わたしたちの町・真鶴は、どのようにうつり変わってきたのだろう。

### ① 釈迦堂遺跡

「縄文時代」に使われた土器や石器などが出土して知られています。



釈迦堂出土土器



釈迦堂出土縄文土器



### ② 貴船神社

この神社は、889(寛平元年)年に建てられたといわれ、江戸時代には貴宮大明神とよばれていました。

### ③ 荒井城址

城口、城の本などの地名があることから、城あとや館あとなどといわれています。荒井実継という人のお城ではないかともいわれていますが、まだはっきり分かっていません。



### ④ 鷓窟

1180(治承4)年、源頼朝が石橋山の戦いにやぶれてから、土肥実平などとともに、この地にあった窟にかくれていたといわれています。追ってきた武士があやしんで中をのぞいたとき、窟の中から「鷓」という鳥がまい出たので、中にはだれもいないとして立ち去ったことから、この名がついたといわれています。



### ⑤ 謡坂

石橋山の戦いにやぶれた源頼朝など七人が箱根山から無事のがれ、そのうちの一人土肥実平が無事を喜んでうたいおどったといわれているところです。

### ⑥ 源頼朝船出の浜

戦いにやぶれた源頼朝が、船で安房(千葉県)の南に船出したのがこの岩海岸だといわれています。



### ⑦ 風外ゆかりの天神宮

1627年、風外というおぼうさんがこのあたりに住み着きました。風外さんは、だるまの絵をかくことがとても上手で、子どもと遊ぶのも大好きでした。天神様をまつり、石のほこらをつくりました。



### ⑧ 瀧門寺の宝篋印塔

真鶴でとれる小松石としてつくった石塔としては、関東で一番大きいといわれています。1767(明和4)年、瀧門寺のおしょうさんが、人々の幸せを願ってつくりました。



### ⑨ 幕末の砲台

江戸時代の終わりころ、江戸幕府は外国の船を追いはらうために、海の守りに力を入れました。小田原藩でも大砲を置くために、たて約30m、横約36mの台場をつくりました。



# 2

まなづるまち  
真鶴町の  
うつりかわり

## まなづるまち にほん 真鶴町と日本のおもなできごと

- まなづるまち 真鶴町
- にほん 日本

### めいじ いごう 明治以降

せいれき西暦	ねん年号	おもなできごと
1868	明治元	●江戸を東京とあらためた。
1871	4	●小田原県（7月）がおかれたが、足柄県（11月）とかわった。 ●県庁が小田原におかれた。
1873	6	●真鶴学校が真鶴村と岩村の共同でつくられ、常泉寺を校舎にして始まった。 (先生4名、児童8名)
1874	7	●吉浜ゆうびん局が、岩村から西の9つの村のはいたつを始めた。
1876	9	●足柄県がはい止され、神奈川県にへん入された。
1879	12	●第1回神奈川県議員選挙が行われた。
1881	14	●小田原 - 熱海間に県道ができた。
		●岩村の如来時に真鶴学校の分校ができた。
1882	15	●真鶴学校を今の所にてた。（6教室）
1884	17	●真鶴村・岩村・福浦村の組合役場ができた。
1887	20	●汽船が国府津 - 小田原 - 真鶴 - 熱海間の運航を始めた。
1890	23	●大日本帝国憲法が公布された。
		●東海道線が全通した。
		●真鶴学校よりわかれ、尋常岩小学校ができた。
1894	27	●日清戦争が始まった。
		●岩村で大火があった。
1895	28	●真鶴港の開港式が行われた。
1896	29	●小田原 - 熱海間に人車鉄道ができた。
1897	30	●長昌院内に尋常岩小学校の新校舎をたてた。（2教室）
1902	35	●真鶴ゆうびん局ができた。
1904	37	●日露戦争が始まった。
1906	39	●人車鉄道が軽便鉄道となった。
1907	40	●汽船が国府津 - 伊東間の運航を始めた。
		1日2回（寄港地は国府津 - 小田原 - 真鶴 - 熱海 - 網代 - 伊東）
1910	43	●韓国併合。
1916	大正5	●熱海線の工事が始まった。
1919	8	●真鶴で大火があった。
1920	9	●真鶴に電話が引かれた。
		●真鶴駅より湯河原温泉場まで乗合自動車走った。（50銭）



人車鉄道



軽便鉄道

せいれき西暦	ねん年号	おもなできごと
1922	大正11	●真鶴 - 湯河原温泉場間に乗合馬車が1日6往復した。 また、小型自動車7台が温泉客をはこんだ。
		●熱海線が真鶴まで開通した。
1923	12	●関東大震災が起こった。
		●駅 - 港をむすぶ道路をつくった。
1924	13	●尋常岩小学校を今の所にてた。
1925	14	●汽船がはい止された。
		●熱海線（国府津 - 熱海）が全通した。
		●ラジオ放送が始まった。
1926	15	●真鶴小学校に電話が引かれた。
1927	昭和2	●真鶴村が真鶴町になった。
1928	3	●熱海線の電化工事が終わった。
1929	4	●真鶴小学校に水道が引かれた。
1934	9	●町営魚市場ができた。
		●丹那トンネルができた。
		●熱海線が東海道本線となった。
		●真鶴港完成、房州方面の魚は真鶴港に陸揚げされて、関西方面におくられるようになった。
1937	12	●日中戦争が始まった。
		●岩小学校が全焼した。新校舎完成。
1941	16	●小学校を国民学校というようになった。
		●太平洋戦争が始まった。
1944	19	●岩国民学校に軍隊がとまった。
1945	20	●真鶴国民学校に軍隊がとまった。
		●二部授業を行った。
		●太平洋戦争が終わった。
1946	21	●日本国憲法が公布された。
1947	22	●六三制の教育が始まった。
		●国民学校が小学校といわれるようになった。
		●真鶴中学校ができた。
1948	23	●町営しんりょう所ができた。
1949	24	●キティー台風で港・道路・家などがこわされた。
1951	26	●火そう場ができた。
		●サンフランシスコで講和条約を結んだ。
		●日米安全保障条約が結ばれた。
1953	28	●テレビ放送が始まった。
1954	29	●真鶴岬が県立公園に指定された。
		●真鶴港が復旧した。



大正12年ころまで  
あった龍門寺の美しい滝  
(関東大震災前)



昭和初期の真鶴港



岬の展望台

西暦	年号	おもなできごと
1956	31	● 日本が国際連合のなかまになった。 ● 真鶴町と岩村がいっしょになり新しい真鶴町ができた。(人口 9,084 人)
1957	32	● 真鶴町と岩村の消防団がいっしょになった。 ● 真鶴の宿仲で大火があった。
1959	昭和 34	● 真鶴有料道路が開通した。 ● 岬を一周するバスの運転が始まった。
1961	36	● ごみしょうきやく場ができた。 ● 岩地区へ江の浦から水道が引かれ、通水が始まった。
1962	37	● 岩小学校で給食が始まった。
1963	38	● 真鶴小学校で給食が始まった。
1964	39	● 東京オリンピックが開かれた。 ● 東海道新幹線が開通した。
1965	40	● 真鶴電話局ができた。 ● 岩小学校の講堂ができた。
1967	42	● 岩海水浴場がひらかれた。
1969	44	● 真鶴駅構内に歩道橋ができた。
1970	45	● 大阪で万国博覧会が開かれた。 ● 日本が人工衛星を打ち上げた。 ● 真鶴有料道路バイパス工事が始まった。 ● 町で大火があった。
		 旧岩小学校
		● 新しい真鶴町役場ができた。
1972	47	● 札幌オリンピックが開かれた。 ● 沖縄が返還された。
1974	49	● 真鶴小学校の新校舎ができた。
1976	51	● 真鶴小学校屋内運動場ができた。 ● 真鶴小学校が開校百周年をむかえた。 ● 真鶴小学校にプールができた。
		 旧真鶴小学校
1978	53	● 日中平和友好条約が結ばれた。 ● ひなづる幼稚園ができた。
1979	54	● 岩小学校の新校舎ができた。
1980	55	● 真鶴中学校の新校舎ができた。
1982	57	● 岩大橋(新道)ができた。
1983	58	● 小田原保健所真鶴支所ができた。
1984	59	● 町民センターができた。
1986	61	● 町民俗資料館(旧土屋邸)ができた。
1987	62	● 荒井城址公園ができた。
		 岩大橋

西暦	年号	おもなできごと
1989	平成 元	● 町立中川一政美術館ができた。 ● 岩小学校屋内運動場ができた。
1990	2	● 岩小学校が開校百周年をむかえた。 ● 真鶴中学校にパソコンが設置された。 ● 真鶴小学校の校舎を改修した。
1992	4	● 真鶴小学校にパソコンが設置された。
1993	5	● 岩小学校にパソコンが設置された。
1994	6	● コミュニティ真鶴ができた。 ● 真鶴町まちづくり条例ができた。 ● 真鶴小学校にパソコンが設置された。
1995	7	● 阪神・淡路大震災が起きた。 ● 真鶴魚座ができた。 ● 町立体育館ができた。 ● 真鶴小学校屋内運動場全面改修。
1997	9	● 長野オリンピックが開かれた。
1998	10	● 第 53 回国民体育大会が神奈川県で開かれ、ウエイトリフティング競技が真鶴町で行われた。
2001	13	● 3 校のパソコンがノート型になった。
2004	16	● 情報センター真鶴ができた。 ● ケーブ真鶴ができた。 ● 真鶴小学校屋外運動場全面改修された。
2005	平成 17	● まなづる小学校ができた。(真鶴小学校と岩小学校がいっしょになる)
2012	24	● お林展望公園に「パークゴルフ場」ができた。
2014	26	● まなづる小学校開校 10 周年をむかえ、記念式典が開かれた。 ● 真鶴産業活性化センター(まなづる里海 BASE)が設置された。
2015	27	● 「真鶴なぶら市」(毎月末日開催)が始まった。
2016	28	● コミュニティバスの有料化と、新ルートでの運行が始まった。
2017	29	● アートイベント「真鶴まちなーれ」が始まった。
2019	令和 元	● 「真鶴町・石の彫刻祭」を開催した。
2020	2	● 新型コロナウイルスが流行し、東京オリンピック・パラリンピックが延期になった。
2021	3	● 東京オリンピック・パラリンピックが開催される。
2024	9	● 民俗資料館が閉館した。(旧土屋邸)
2025	7	● まなづる小学校開校 20 周年をむかえた。



真鶴町・石の彫刻祭



まなづる小学校20周年

## きょういく い いんかい 教育委員会のことば

### しょうがっこう みな ～まなづる小学校の皆さんへ～

みな せいかつ まなづるまち うみ やま ゆた しぜん ひかし つづ れきし み ぢか  
皆さんが生活している真鶴町は、海や山の豊かな自然、昔から続いてきた歴史、そして、身近な  
けいかん たいせつ いま ひとびと せいかつ わかし ほこ  
景観を大切にしている今の人々の生活など、私たちの誇りとなるものがたくさんあります。

いっぽう ねんねん じんこう へ くだい なか まち みりよく  
一方で、年々、人口が減っていくという課題があります。このような中で、町は魅力あるまちづ  
くりに向けて取り組んでいます。町の将来のためには、多くの人の経験や知恵、新たな発想、そして、  
な と 成し遂げるためのパワーが必要です。小学生の皆さんも、中学生になったら是非この輪の中に入っ  
ていただきたいと願っています。

しょうがっこう まなづるまち す まなづるまち ほこ おも まなづるまち  
まなづる小学校では、真鶴町のことをもっと好きになり、真鶴町を誇りに思い、真鶴町のことを  
かんがえ、よりよいまちづくりに向けて活動できる子どもになることを目標として「ふるさと教育」をい  
ろいろな分野で進めています。皆さんが真鶴のことを学習する時に役立つように作成したのが「副  
どくほん まなづる」です。

ふくどくほん まなづる」は、みなさんが3年生になり社会科の学習を始めるのに合わせてお渡ししてい  
るものです。3年生から6年生の社会科や総合的な学習の時間を始めとした学校のいろいろな勉強  
で積極的に活用してください。また、家庭でも「副読本 まなづる」を使って家の人と一緒に真鶴  
のことを勉強できるとさらに役立つと思います。

さいご ふくどくほん へんしゅう しょうがっこう せんせいがた はじ まなづるまち す  
最後に、「副読本 まなづる」の編集には、まなづる小学校の先生方を始めとして、真鶴町に住む  
おお かつがた きょうりやく みな かんしゃ きもち おいわ おも  
多くの方々のご協力をいただいています。皆さんとともに感謝の気持ちを表したいと思います。

れい わ ねん がつ ついたち  
令和8年3月1日

まなづるまちきょういく い いんかい きょういくちょう こう けつ ひと し  
真鶴町教育委員会 教育長 纈纈 仁志

## ふくどくほん まなづる」をつか とき 「副読本 まなづる」を使う時に

1 じどう みな と い きつ ちゅうしん がくしゅう すず がくしゅうもんだい ことば しめ  
児童の皆さんの問いや気付きを中心に学習を進められるように、学習問題となるような言葉を示  
しているので参考にしてください。

2 じどう みな まなづるまち きょうみ かんしん じょうじつ さんこう  
児童の皆さんが真鶴町への興味・関心をもてるように、コラムを充実させているので参考にし  
てください。

## 参考文献・資料協力

真鶴町勢要覧'97「真鶴」

真鶴町まちづくり計画

真鶴の文化財

文化財だより（第5号）

真鶴の鳥

広報「真鶴」

副読本「まなづる」（令和2年度版）

真鶴（真鶴町郷土を知る会編）

真鶴の歴史を探る（遠藤勢津夫著）

湯河原（平成13年度版）

教育出版株式会社

本書に掲載されている地図は、国土地理院の「地理院地図（電子国土Web）」を使用または加工したものです。  
(<https://maps.gsi.go.jp/>)

真鶴町役場

第5次真鶴町総合計画後期基本計画

まなづるの統計（令和4年度版・令和7年度版）

真鶴町漁業協同組合

松本農園

湯河原美化センター

神奈川県警察本部

小田原警察署

わたしたちの神奈川県

光村図書出版株式会社

Google マップ

○表紙絵

永谷 春さん

（まなづる小学校：令和7年度2年生）

題名

最高の祭り



## この本の執筆・編集にたずさわった先生方

令和7年度編集委員会

編集委員	まなづる小学校	教頭	後藤	由多加
		総括教諭	古本	一夫
	真鶴中学校	教諭	二神	朗
		教諭	杉崎	洋一
	教育委員会事務局	指導主事	飯島	貴之
		学校教育指導員	市川	麻美

## 副読本「まなづる」

改訂 令和8年3月（初版 昭和51年）

編集者 真鶴町社会科副読本編集委員会

発行 真鶴町教育委員会

印刷所 JSL 株式会社



真鶴町立 小学校

年 組

名 前